

青木繁が「海の幸」描いた小谷家、修復終え公開

29日から千葉・館山



福岡県久留米市出身の洋画家青木繁が1904(明治37)年に滞在し、代表作「海の幸」(国重要文化財)を描いた千葉県館山市の小谷家住宅(市有形文化財)が、修復工事を終えて29日から一般公開される。

房総半島最南端の、漁村として栄えた集落にある小谷家は、明治期に村の漁師頭などを務めた。屋根のふき替えや、なまこ壁の復元、展示の整備などを行い、約5千万円の総工費を、画家などで行くつくるNPO法人「青木繁『海の幸』会」や、同会理事長でノーベル医学生理学賞の大村智・北里

大特別栄誉教授らが支援した。

29日から5月8日まで公開し、その後は土日のみ。一般200円ほか。維持のために年会費2千円の友の会も募集中。問い合わせは運営管理を行う「青木繁『海の幸』誕生の家と記念碑を保存する会」110470(22)82271、

awabunka@awa.or.jp (写真は同会提供)